煉瓦研究ネットワーク関東

情報連絡誌　No.1

本号の内容

【活動の記録】2026年度第１回見学会
【お知らせ】
【情報】

背景：日野煉瓦を使った日野用水の隧道

【活動の記録】

参加者：午前　14名　午後　13名

煉瓦研究ネットワーク関東
2026年度第１回見学会

日　時　2026年5月16日（土）　午前10：00～　午後14：30～
雨天決行

内　容　午前：立教大学煉瓦校舎群と立教学院展示館　午後：大井町トラックス煉瓦壁

集　合　10：00　立教大学　池袋キャンパス内第一食堂前（正門から真っすぐの突き当り）
14：30　大井町駅　西口改札口

参加申込　参加希望者のみ4月30日までにメールで事務局までお知らせください。

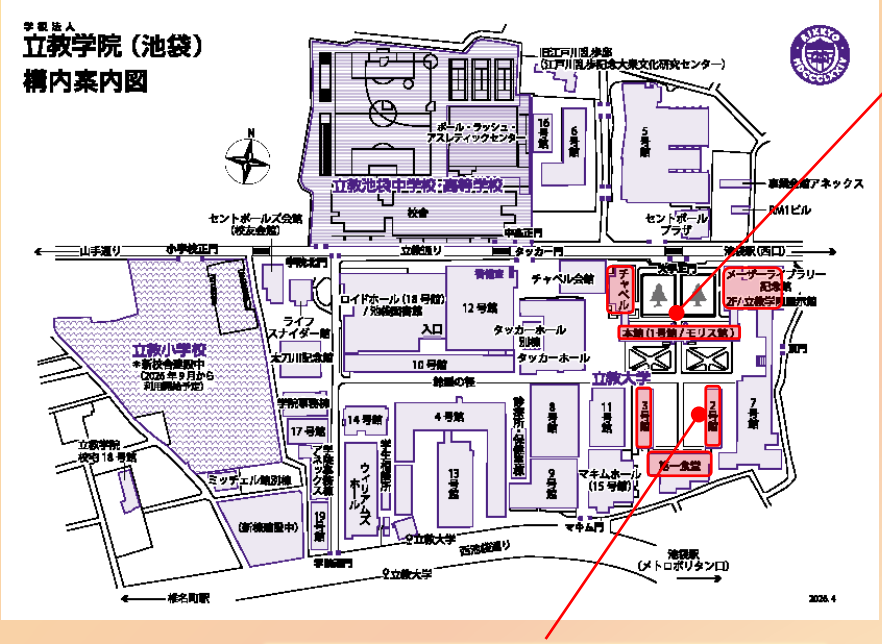
～当日の日程～

開始時間	項目	内容	備考
10：00	集合	立教大学　池袋キャンパス内第一食堂前（時間厳守）	立教大学は現地案内（施設係・展示館）あり
	見学	【　午前の部　】 2001年に東京都選定歴史的建造物に選定された立教大学本館（モリス館）、メーザーライブラリー記念館（旧立教大学図書館旧館）、立教学院諸聖徒礼拝堂、第1食堂、２号館、3号館、6棟（いずれも１９１８（大正７）年築）の見学。 立教学院展示館の見学 【　午後の部　】 大井町トラックス煉瓦壁（旧「御料車庫」）	
16：00	解散	JR大井町駅	
	懇親会	JR大井町駅周辺	

立教大学池袋キャンパスの見学

案内：立教大学施設部

詳しくはHP最新ブログ
「立教大学池袋キャンパス見学記－煉瓦景観と材料観察を中心として－」



本館(モリス館)
中庭側から

２号館で輪違いの刻印発見！
「立教大学の煉瓦は金町煉瓦」と言われてきた。全員血眼になって刻印を探したところ、２号館にて待望の輪違いの刻印を発見。いずれも付属印あり。その後、３号館でも輪違い刻印を発見！一同満足。

２号館東側窓下せり出し脇
よくもまぁ、こんなところを見つけたもんじゃ(;^_^A
付属印は何らかの図形のよう。

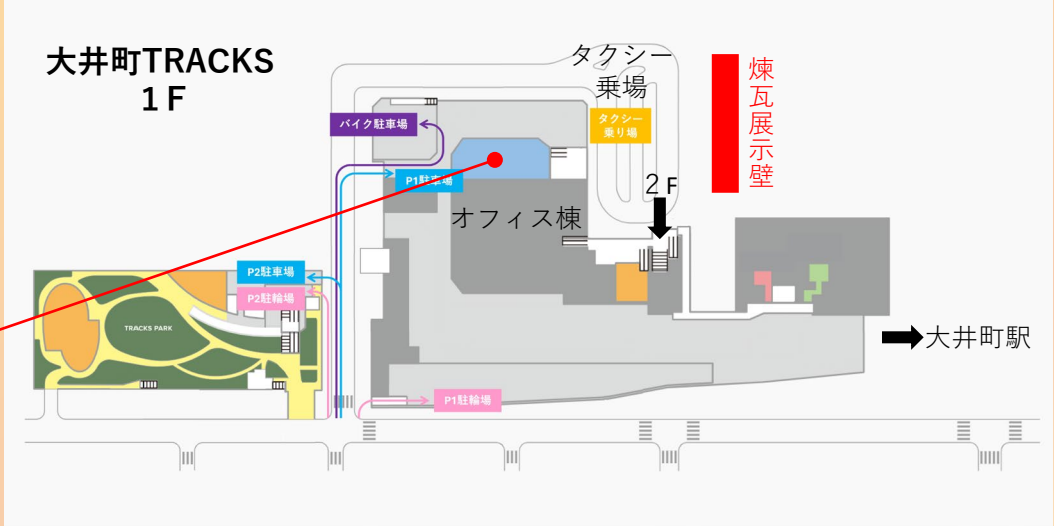
２号館北側入口付近
付属印はカタカナ文字のようだが、何と読むか…

大井町トラックス煉瓦壁（旧御料車庫）の見学

JR京浜東北線大井町駅隣に開業した複合施設大井町TRACKSは、JR東日本東京総合車両センターの一部を再開発して建設された。敷地北側にあった御料車庫は解体されたが、使用煉瓦の一部が１Fのタクシー乗場前の壁面に展示されている。

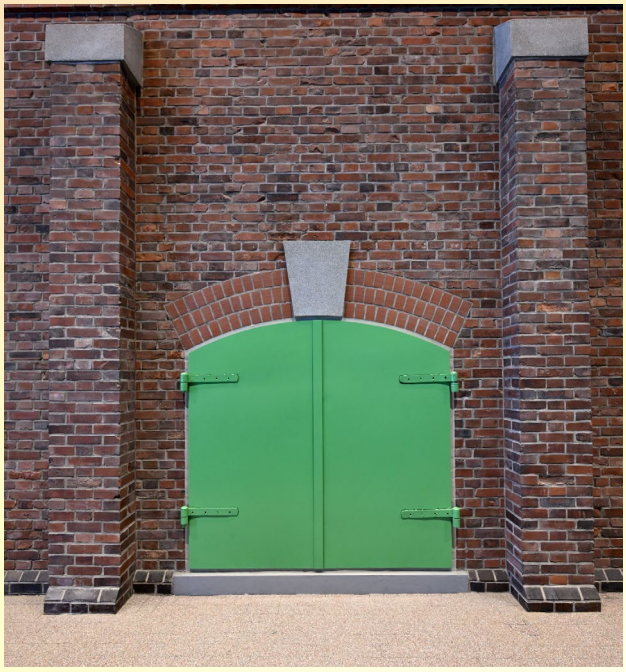
開業時には展覧会も…

コンファレンスでは、大井工場関連の展覧会が行われ、解体時に発見された御料車庫の使用煉瓦が展示された。「上敷免製」の刻印の字体が草書風で、今まで見たことのないものだったことにびっくり！



煉瓦壁と窓・通気孔・横扉

解体時は壁面を分割して、移築後に組み上げる予定だったが、結局個別に外した煉瓦を積むことになった。その結果、煉瓦の色がばらついている。本来の壁面の様子がわかるところがないのは残念。積み方はイギリス積み。また、この場所の壁面全体をカバーできる量の解体煉瓦を確保できなかったため、複製煉瓦を足したとのこと。窓の左の凸帯部分、通気孔・横扉の上のアーチ部分などの明るい色の煉瓦は複製煉瓦。



窓枠に注目

展示壁の前で撮った集合写真。バックの左右の窓枠が違う。向かって左が移築されたもの、右は維持管理しやすいようにデザインされたもの。よく見ると、左は板ガラスに鉄枠、右は素材が異なるようだった。

【お知らせ】

・８月25日（火）に和洋女子大学所蔵の煉瓦の資料調査（記録化）を行う予定です。煉瓦の実測・写真・拓本・観察等を行いますので、ふるってご参加ください。詳細は後日事務局よりお知らせいたします。

・秋口に中京方面への見学会を企画しています。稼働中の現代煉瓦工場やとこなめ陶の森などの見学を検討しています。日程は未定ですが、１泊で連休前後を考えています。見学先や日程についてご希望がある方は、事務局までお知らせください。

【情報】

・遺物検討会：九州近現代考古談話会　レンガ研究会（仮）

[日時]　8/9（日）10:00～17:00頃

[場所]　佐賀市文化財資料館西端のプレハブ

[目的]　幕末煉瓦の分類方法、実測方法の検討

[検討遺物]　多布施反射炉＜幕末＞跡出土煉瓦、精煉合資会社＜近代＞遺構出土煉瓦。煉瓦以外の遺物で見たいものがあれば対応可能なものは用意します。事前にご用命ください。鋳型（砲弾鋳型、大砲砲尾？鋳型、大砲駐鋤？鋳型等）、鉄素材（インゴット）、砲弾など。

・展覧会

「神戸の近代を掘る」　神戸市埋蔵文化財センター（9/19～11/23）

「珉平焼窯跡－発掘された陶磁器・タイルの近代窯業－」

兵庫県立考古博物館（2027年1/16～3/14）

※編集後記※

タイトルと奥付の背景に、煉瓦研究ネットワーク関東の前身、煉瓦研究ネットワーク東京の記念すべき第１回目活動時に撮った画像を入れました。JR中央線日野駅近く、日野用水が線路築堤下を潜る隧道で、日野煉瓦が使われています。会員数名が奥を目指すも、行く手は真っ暗。だけど、進めばきっと光が見えるはず。